

第2次北上市地域教育力向上推進計画

令和3年3月
北上市教育委員会

目 次

第1章 計画の策定にあたって	3
1 地域教育力とは	3
(1) 地域教育力の定義	3
(2) 地域教育力の考え方	3
(3) 地域教育力向上の必要性	4
2 地域教育力向上推進の合言葉と「北上っ子5つのやくそく」	5
3 趣旨	6
4 推進計画の位置づけ	7
5 計画期間	7
第2章 地域教育力をめぐる状況	8
1 子どもたちを取り巻く環境	8
(1) 核家族化、少子化による影響	8
(2) 国際化の進展	9
(3) 高度情報化社会の進展	10
2 第1次北上市地域教育力向上基本計画等から見えてきた成果と課題	12
(1) 重点施策の動向から見る成果と課題	12
(2) 指標の動向から見る成果と課題	14
(3) 成果と課題【資料編】	20
第3章 地域教育力向上の基本的な考え方	25
1 子どもたちが目指す姿	25
2 地域教育力向上の系統図	25
3 5者の役割の実践	27
(1) 子どもの役割	27
(2) 家庭の役割	29
(3) 地域の役割	31
(4) 学校の役割	33
(5) 行政の役割	35
4 地域と学校の連携・協働の充実	37

第4章 地域教育力向上の重点施策の展開	40
1 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進	40
2 「情報メディアとの上手な付き合い方」の推進	42
3 地域の特色を生かした実践活動の成果の共有	44
4 「北上っ子5つのやくそく」の推進	45
5 子どもの読書活動の推進	46
第5章 計画の推進体制と進行管理	48
1 計画の推進体制	48
2 推進のための支援	48
3 計画の進行管理	48
資料編	49

第1章 推進計画の策定にあたって

1 地域教育力とは

(1) 地域教育力の定義

親と子どもの学びや育ちを地域社会全体で支えていくことが大切であり、家庭の教育力は地域教育力の源であるとともに、地域教育力が家庭の教育力を支え、相互に補完し合う関係にあります。

北上市においては「地域教育力」を「地域の人材、施設、自然環境、地域行事等を生かしながら地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育てていく力」と定義します。

また、教育力について考える場合の地域は北上市全域としての範囲と、子どもたちを対象とする活動の範囲としての地域（小学校区、中学校区、行政区、市内16地区等）があると捉えます。

北上市の地域教育力

地域の人材、施設、自然環境、地域行事等を生かしながら

地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育てていく力

(2) 地域教育力の考え方

北上市の地域教育力は、地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育むことです。子ども、家庭、地域、学校、行政の5者がこの学ぶ力を育むことで、子どもたちが目指す姿の心や力が養われ、これからの社会変化に対応するために必要な生きる力が育まれます。

このため、子どもたちは地域社会の中で、大人たちや年齢、性別の垣根を越えた交流を通し、さまざまな生活体験、社会体験、自然体験や失敗体験なども豊富に積み重ねていくことが必要と考えます。

また、保護者は自分の子どもの保育園や幼稚園、小学校などの入学をきっかけに、PTAとして地域の行事や活動に参加することは、子どもを介して地域を意識し、子どもの活動を通して人と人とのつながりが増えるなど、地域づくり・まちづくりを推進するために、重要な役割を果たすものと考えられます。

本計画では、子どもたちが心豊かに地域の担い手として成長していくよう、家庭、地域、学校、行政が、それぞれの果たす役割を認識し、地域の人

材、施設、自然環境、地域行事等を生かし、地域社会全体で子どもたちの学ぶ力を育てていこうとするものです。

(3) 地域教育力向上の必要性

全国学力学習状況調査から北上市の状況を見ると、全国と比べ地域とのつながりが強いことが分かりました。これは、世代間の交流や交通安全への取り組み、郷土芸能の伝承等の地域に根差したさまざまな活動の成果であると考えられます。

家庭や地域の教育力の低下が危惧される中で、現在取り組まれている地域に根差した活動の成果を生かし、さらに地域教育力の向上に結び付けていくためには、これまでの個々の活動を検証し、その成果を互いに共有することで、地域の活動をより深め連携させていくことが必要です。

また、子どもたちが人格を磨き、豊かな人生を送るとともに、これからの変化の激しい社会をたくましく生きていくためには、「子どもたちが目指す姿」や、それを支えるための5者の役割を地域社会全体で共有し、5者が連携しながら子どもたちの学びを育てていくことが必要です。

2 地域教育力向上の合言葉と「北上っ子5つのやくそく」

地域教育力向上推進の合言葉

学びあい みんなで育つ 北上っ子

子どもも大人も共に学びあい、共に成長していく地域社会の中で子どもの学ぶ力を育てていくことを願い、合言葉としました。この合言葉の下、地域教育力の向上を図ります。

また、地域社会全体で家庭教育の実践を奨励するため、子どもたちに身に付けさせたい生活習慣を「北上っ子5つのやくそく」として平成22年1月に市教育委員会が決めました。家庭や地域で取り組むことを大切にし、郷土への愛着と誇りを持つこと、他人に対する優しさや思いやりの心を育てることで規範意識の醸成を図ります。

北上っ子 5つのやくそく を守ります！

- 1 自分から 明るく 笑顔であいさつをします
- 2 すなおな気持ちで「ありがとう」
「ごめんなさい」を言います
- 3 家族の一員として 進んでお手伝いをします
- 4 物を大切にして 整理せいとんをします
- 5 目標に向かって ねばり強く チャレンジします



子どもたちが健やかに成長し、心豊かな社会生活を営むことを願い、親子や地域全体での取り組みを推進します。

3 趣旨

北上市教育委員会では、平成26年3月に北上市地域教育力向上基本計画を策定し、具体的に事業を進めるため平成27年3月に北上市地域教育力向上行動計画を策定して以来、本市の地域教育力向上に取り組んで参りました。

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、全国的に核家族化や少子化等が進み、地域における地縁的なつながりや他人との関わりが希薄化してきており、子どもの教育、成長を支えている家庭や地域全体の教育力の低下が危惧されています。

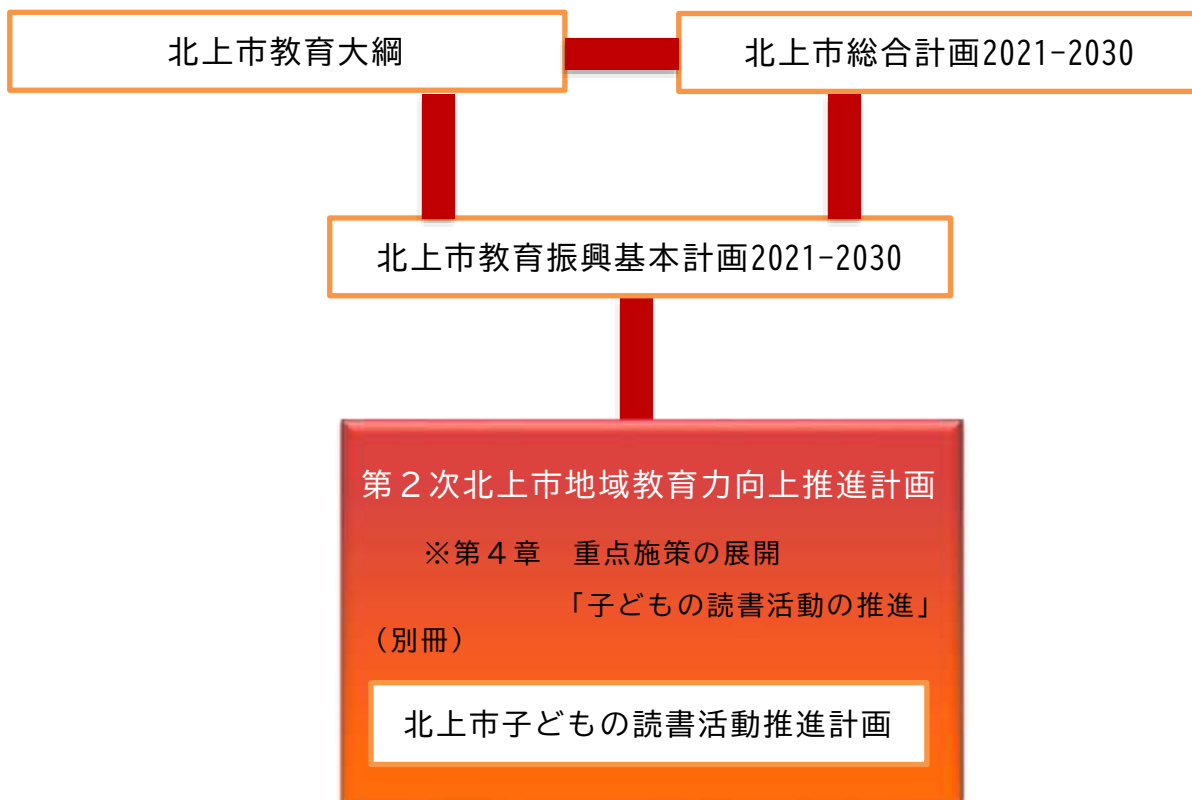
子どもたちが調和のとれた社会人として成長するためには、学校教育だけではなく、家庭や地域社会の中で生活習慣や規範意識を身に付け、何事にも意欲的に取り組んでいけるよう、家庭や地域社会全体で子どもたちを育てていくことが必要とされています。

そのために、子どもと家庭、地域、学校、行政の5者が果たすべき役割や目標を明らかにし、地域のさまざまな資源（人材、施設、自然環境、地域行事等）を生かした取り組みを行いながら、子どもたちが自ら学び続け、社会変化に対応できる力を育む環境を地域社会全体でつくることが求められています。また、「地域教育力向上」の取り組みは、大人自身の交流や学習の場ともなり、教育分野のみならず、地域づくりやまちづくりに貢献し、地域の活性化にもつながることが期待されます。

こうした状況を踏まえ、北上市教育委員会は、北上市地域教育力向上基本計画及び北上市地域教育力向上行動計画の計画期間が令和2年度で終了することから、本市の教育振興基本計画の基本目標である「未来に向かい 自ら学び 地域を互いに支える人づくり」の実現に有効なものとなるよう、第1次北上市地域教育力向上基本計画並びに第1次北上市地域教育力向上行動計画(以下第1次基本計画、第1次行動計画等と称す)を一本化し、新たな北上市地域教育力向上推進計画として策定するものです。

4 推進計画の位置づけ

本計画は、北上市総合計画における基本目標「ひと」に関わる教育施策に沿い、その具体的な内容を示すと共に、北上市教育大綱の理念を実現しようとする「北上市教育振興基本計画」を上位計画とした個別計画の一つで、「第4次北上市子どもの読書活動推進計画」等関連計画と整合性を図りながら実施していきます。



5 計画期間

計画期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5カ年とします。

第2章 地域教育力をめぐる状況

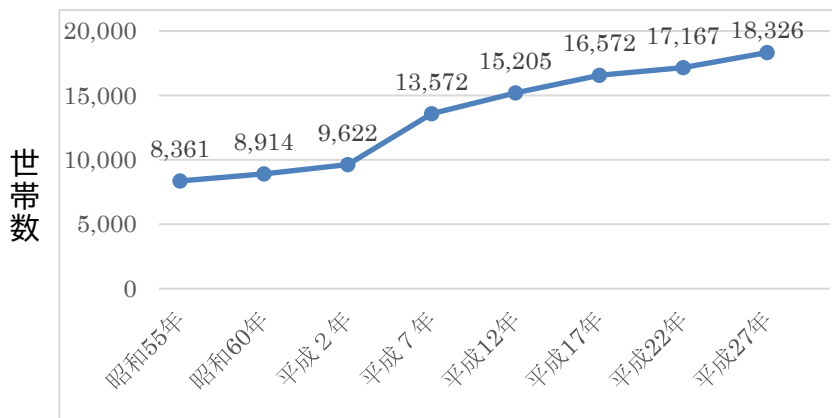
1 子どもたちを取り巻く環境

(1) 核家族化、少子化による影響

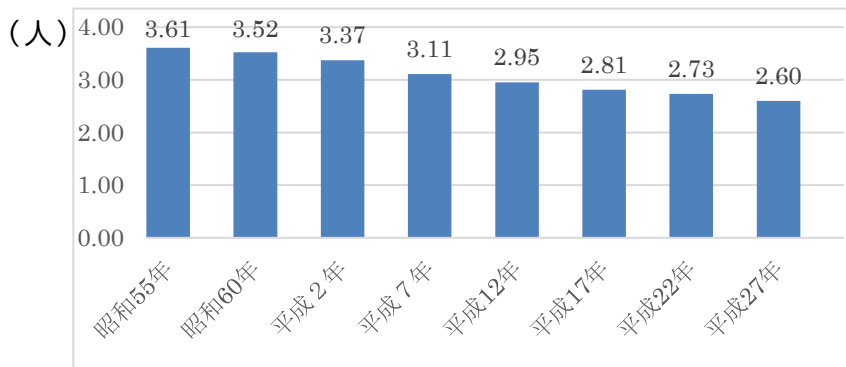
近年、全国的に大家族世帯が減少し、核家族化が進行しています。北上市でも核家族世帯が増加傾向にあり、一世帯当たりの世帯人員が減少しています。

三世代同居などの大家族世帯が多かった時代は、子どもが放課後に家に帰ると、家族の誰かがいることが多く、安心して過ごすことができました。しかし、現在は核家族化や保護者の就労などにより、学校から家に帰った時に家族がいない子どもが多くなっています。

○ 市内核家族世帯の推移



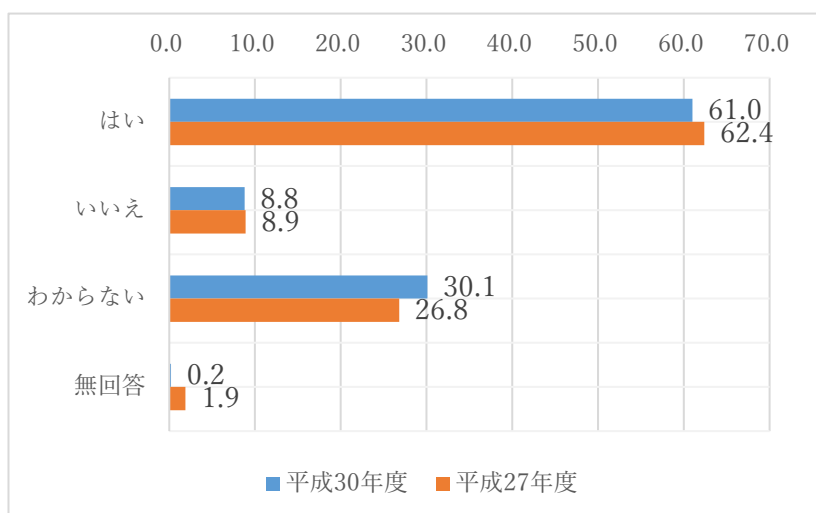
○ 市内一世帯当たりの世帯人員の推移



(国勢調査報告)

さらに、地域は子どもたちにとって、年齢の垣根を越え、友人と自由に遊び、活動できる場であり、その中でさまざまな体験をする場でもあります。しかし、少子化等の影響もあり、意図的な取り組みがないと、子どもたちが集まりにくくなっているのが現状です。また、中高生の子どもをもつ保護者の調査によると、約6割が家庭の教育力が低下しているとの現状認識を示しています。

○ 家庭の教育力が低下していると思うかの割合



(平成30年度青少年の健全育成に関する意識調査：岩手県環境生活部 若者女性協働推進室)

このような中、国は平成19年度から「放課後子ども教室推進事業」を創設しました。これは、地域ボランティアの協力のもと、放課後や週末等に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを実施するものです。

本市でも「放課後子ども教室」を3地区で開設し(令和2年度現在)、計画的に地域住民が子どもたちを見守り、安全・安心な居場所づくりに取り組んでいます。子どもたちは、地域の大人に見守られながら学年の異なる友人と勉強や遊びだけでなく、宿泊体験や農業体験などさまざまな体験活動をしています。

しかし、子どもたちを見守る地域の大人の人材確保という課題があります。また、保護者が共働き等により、家庭で安心して放課後を過ごすことができない児童のために、保護者で組織する父母会や地域の代表者からなる運営委員会により学童保育所が運営され、児童の放課後の生活の場を確保しています。

(2) 国際化の進展

国際化が進展し、社会のあらゆる分野でのつながりが国境を越えて活性化する中、国際社会のみならず、地域や学校においても外国人との交流機会が多くなってきています。このような中、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくためには、自らの国や地域の伝統・文化についての理解を深め、尊重する態度を身に付けることや郷土を愛する心を育むことが求められています。

また、多様性社会の推進のためにも、年齢、障がいや病気の有無、国籍等を問わず、誰もが活動しやすい環境づくりが求められています。

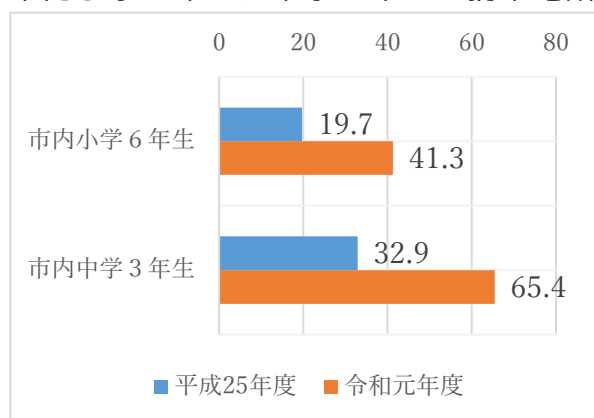
(3) 高度情報化社会の進展

高度情報化の進展により、携帯電話やスマートフォンなどICTの利活用が世代を超えて広がってきています。

また、携帯電話やスマートフォンなどが子どもたちにも急速に普及したことで、多様な情報に触れることが容易になってきています。その一方で、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用により、犯罪に巻き込まれる事例やインターネット上での誹謗中傷が深刻化するなどの問題が顕在化してきています。そのため、情報を適切に取り扱う力を養うことや使用する際のルールを決めるなど、家庭内のみならず地域社会全体においても※情報モラルについて考え、情報化社会への対応が求められています。

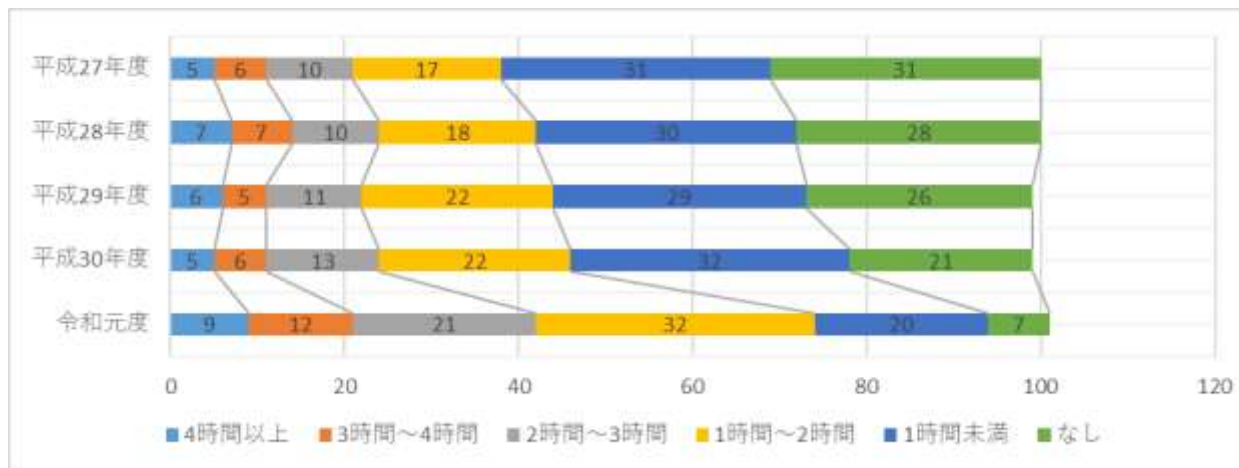
※ 情報モラル・・・パソコンや携帯電話などのネットワーク上のルールやマナー、危険回避、個人情報・プライバシー、人権侵害、著作権等に対する対応や、パソコンなどの情報機器の使用による健康とのかかわりなど

○ 市内小学6年生、中学3年生の携帯電話の所持率



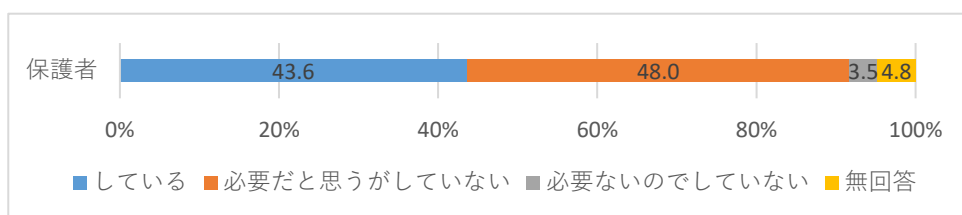
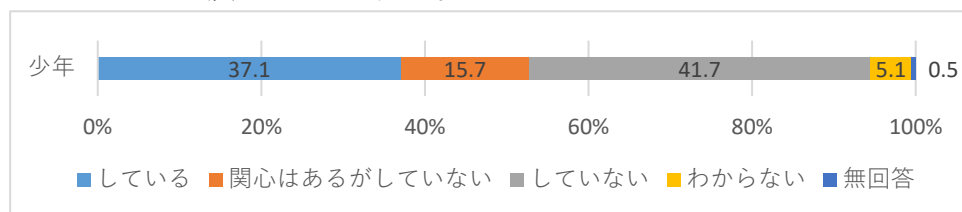
(北上市学校教育課)

- 市内中学校2年生の1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしているかの割合。(令和元年度は、平日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで、電話、メール、ゲーム、インターネットを利用しますか。に変更)



(小・中学校学習定着度状況調査：岩手県教育委員会)

- インターネットやメール（携帯電話、スマートフォンを含む）について家族でルールを決めていますか。



(平成30年度青少年の健全育成に関する意識調査：岩手県環境生活部 若者女性協働推進室)

※少年・・・中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生

※保護者・・・少年の保護者

2 第1次北上市地域教育力向上基本計画等から見えてきた成果と課題

(1) 重点施策の動向から見る成果と課題

ア 地域の特色を生かした実践活動の成果の共有

【成果】

きたかみ地域教育力向上フォーラムを年1回開催しています。市民に対して広く周知した上で実施し、事例発表等を通して地域教育力向上につながる実践活動の成果を共有し、情報交流の場としています。

また、地域教育力向上につながる活動の取り組み件数が令和元年度調査時は1,581件、平成25年度調査時は1,039件であることから、子どもたちの成長につながるさまざまな活動が実施されていると言えます。

(令和元年度地域教育力に関する活動の実態調査：北上市生涯学習文化課)

フォーラムの参加者数（平成27年度～令和元年度）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	174人	180人	450人	350人	350人

【課題】

「地域教育力向上につながる取り組みが平成25年ごろと比べて盛り上がっていると感じるか」という設問に対して、「いいえ」、「分からない」と回答している団体が約6割となっています。取り組みを実践している団体への調査においてこの結果ということから、周知活動が地域社会全体へとまだ行き渡っていないと考えられます。このことから、継続して実践活動の成果と課題を共有し、地域社会全体で子どもたちを育てていく環境づくりに取り組むとともに、実践活動をより一層推進していく必要があると言えます。

(令和元年度地域教育力に関する活動の実態調査：北上市生涯学習文化課)

イ 読書活動の推進

【成果】

- ・ 「みんなで本に親しもう 家庭読書週間」と題して、年1回10月から11月にかけて市立図書館と連携して、家庭読書週間の取り組みを実施しています。
- ・ 家庭読書週間の実施によって、本に触れる機会を創出しています。(令和元年度の家庭読書週間における「中学3年生の1日あたり30分以上読書している割合が40.0%」、令和元年度の全国学力・学習状況調査における「1日当たり30分以上読書をしている割合が25.7%」)
- ・ 小中学校での1人あたりの本の年間貸し出し冊数は増加していることから、読書活動の推進の効果が現れています。(小学生は平成20年度：40冊→令和元年度：85冊、中学生は平成20年度：0.8冊→令和元年度5.6冊) (北上市学校教育課)

【課題】

- ・ 第1次行動計画の指標項目における「学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(30分以上している)」の割合が年々減少しています。読書活動が向上するように学校や市立図書館等と連携し、より一層の活動の推進について検討する必要があります。

ウ 「北上っ子5つのやくそく」推進

年1回夏休み前に小学1年生や3歳児の保護者へ「北上っ子5つのやくそく」のチラシを配布し、活動推進について啓発しています。

【課題】

- ・ 活動推進について啓発をしているのみであることから、取り組み状況を把握する必要があります。
- ・ 家庭、地域、学校、行政の連携を図り、より一層の活動を推進していく必要があります。

(2) 指標の動向から見る成果と課題

第1次行動計画では、「子どもたちの目指す姿」の実現に向け、子どもたちの「心と力」の傾向及び子どもたちが学ぶ力を育てている状況を把握するため、全国学力・学習状況調査の質問紙調査結果を活用し、成果指標を設定して取り組んできました。

ア 本市の同一学年の比較

本市の平成26年度調査開始時と令和元年度の調査において同一学年を比較すると、指標項目に対する割合の推移については、概ね増加傾向にあります。

各調査対象における増加指標項目、減少指標項目は次のとおりです。

上段：子どもたちの目指す姿 中段・下段：指標項目	調査対象	
	小6	中3
生命や人権を尊重する「命を大切に作る心」		
自分にはよいところがあると思いますか	↗	↗
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	↗	↗
規範の尊重や他者との良好な関係を構築するための「人と関わる力」		
友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか	↗	↗
人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	↗	↗
生まれ育った郷土の歴史、風土、文化などに対する愛着と誇りを持つ「故郷を愛する心」		
今住んでいる地域の行事に参加していますか	↘	↗
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	↗	↗
豊かな情操や感性を磨く「感動する心」		
読書は好きですか	↗	↘
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	↗	↗
個人の能力を伸ばし、創造性を培い、たくましい意思や自立心を養う「自分の未来を切り拓く力」		
将来の夢や目標を持っていますか	↗	↘
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	↗	↗
「学ぶ力」		
学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（1時間以上している）	↗	↗
学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（30分以上している）	↗	↘

また、増加項目及び減少項目において、本市の数値が市で設定した目標、全国及び岩手県の数値と比較し低くなっている項目があります。

【P20資料編 図表1】

【成果】

- ・ 第1次基本計画において設定した「子どもたちの目指す姿」の5つのうち、「命を大切に作る心」、「人と関わる力」に関する指標項目は増加しており、「故郷を愛する心」、「感動する心」、「自分の未来を切り拓く力」に関する指標項目については、一部の指標項目は増加していることから、それぞれの心や力が養われています。
- ・ 市内各地域において、さまざまな取り組みが実施されており、市内各地域で取り組まれている特色を生かした活動の成果として、子どもたちが地域社会の中で、異年齢交流や、様々な生活体験、社会体験、自然体験等の活動を通して、人間関係や集団のルール、規範意識、社会性、道徳等を身に付けられる地域環境の充実が図られていることが考えられます。

【課題】

- ・ 本市の平成26年度の指標項目の数値と令和元年度の指標項目の数値を比較すると、全体的には、増加傾向にありますが、本市の目標に届かなかった指標項目や全国、岩手県と比較して低い数値の指標項目もあることから、引き続き、地域社会全体で子どもたちを育てる取り組みが必要です。
- ・ 子ども、家庭、地域、学校、行政の5者のより一層の連携により地域の教育課題を解決する活動を充実させ、地域教育力向上を図ることが必要です。
- ・ コミュニティ・スクールの推進等を通して、地域学校協働活動の充実等の必要があります。

【背景】

- ・ 地域の人材を生かしたさまざまな取り組みにより、子どもたちがさまざまな体験活動を行い、情操が豊かになってきていると考えられます。
- ・ 中学3年生における「読書は好きですか」、「学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（30分以上している）」の2つの指標項目において、減少している理由は様々あり、そのいくつかは次のとおりです。
 - 学校の授業時間以外に普段の勉強時間の増加
（令和元年度全国学力・学習状況調査：文部科学省）
【P20資料編 図表1】
 - 「学校の部活動に参加していますか」という指標項目において、本市は全国と比較して部活動に参加している割合が高い。
（本市：98.4%、全国：87.5%、岩手県：98.5%、令和元年度全国学力・学習状況調査：文部科学省）

- 携帯電話の所持率増加に伴う携帯電話の使用時間の増加
(北上市学校教育課、小・中学校学習定着度状況調査：岩手県教育委員会)
【P10～11参照】
- 「テレビやゲームの方が楽しい(39.1%)」、「読むのがめんどろ(37.3%)」、「勉強や習い事で忙しい(36.4%)」などの理由による読書離れが進んでいることが考えられます。
(令和元年度家庭読書週間アンケート：北上市生涯学習文化課)
- ・ 中学3年生における「将来の夢や目標がありますか」の指標項目が減少している背景として、10年後の社会が「今よりも悪くなる」と回答した少年(中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生)の割合が4割を超えていることから、将来に悲観的な意識を持っていることが考えられます。
(平成30年度青少年の健全育成に関する意識調査：岩手県環境生活部 若者女性協働推進室)

イ 本市の同一対象者の比較

平成28年度の小学校6年生の結果とその小学生が中学校3年生になる令和元年度の結果を比較したところ、12項目中3項目が増加しています。増加した指標項目は次のとおりです。

- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
- ・ ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか

【成果】

- ・ 同一対象者の比較では、学年が上がると、数値が減少する傾向にあることが分かります。しかしながら、「平成26年度の小学校6年生の結果とその小学生が中学校3年生になる平成29年度の結果の差」と「平成28年度の小学校6年生の結果とその小学生が中学校3年生になる令和元年度の結果の差」を比較すると、半数の項目の差が縮まってきていることが分かります。

上段：子どもたちの目指す姿 中段・下段：指標項目		「H26小3とH29中3の差」 と「H28小3とR1中3の差」 の比較
生命や人権を尊重する「命を大切にする心」		
自分にはよいところがあると思いますか		↗
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか		↗
規範の尊重や他者との良好な関係を構築するための「人と関わる力」		
友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか		↘
人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか		↗
生まれ育った郷土の歴史、風土、文化などに対する愛着と誇りを持つ「故郷を愛する心」		
今住んでいる地域の行事に参加していますか		↗
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか		↘
豊かな情操や感性を磨く「感動する心」		
読書は好きですか		↘
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか		↗
個人の能力を伸ばし、創造性を培い、たくましい意思や自立心を養う「自分の未来を切り拓く力」		
将来の夢や目標を持っていますか		↗
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか		↘

上段：子どもの学ぶ力 中段・下段：指標項目		「H26小3とH29中3の差」 と「H28小3とR1中3の差」 の比較
「学ぶ力」		
学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（1時間以上している）		↘
学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（30分以上している）		↘

【課題】

- ・ 同一対象者を比較すると減少する指標項目があることから、この差を縮めることが課題です。
- ・ 少年（中学生・義務教育学校後期課程の生徒・高校生）の地域活動に参加しない理由として、「やりたいと思う活動がないから（33.3%）」、「どのような行事や活動があるのか知らないから（31.6%）」、「自分が自由に使える時間がなくなるから（28.1%）」、「参加する気持ちはあるが忙しくて時間がとれないから（21.1%）」等の理由が挙げられていることから、家庭、地域、学校、行政が連携し、周知方法や活動内容等に工夫を凝らし、活動を行う必要があります。
(平成30年度青少年の健全育成に関する意識調査：岩手県環境生活部 若者女性協働推進室)

【背景】

- ・ 同一対象者を比較した際に、自尊感情、自己肯定感に関する指標項目における中学3年生の数値が小学6年生の数値より低くなっていることについては、様々な要因が挙げられます。
- 「思春期における自尊感情の低下は、発達的には決してネガティブな現象ではなく、そうした変化を経験する個人のほうが、よりポジティブな発達を遂げていることを意味していると思われる。つまり、時期によっては、自尊感情が低下することが定型的な発達パターンを示しており、むしろ生涯発達の点から見ると、認知発達の点から、そのほうが適応的な発達である可能性も考えられる。」(加藤弘通・太田正義・松下真美子・三井由里、2018、『思春期になぜ自尊感情が下がるのか？－批判的思考態度との関係から－』、青年心理学研究、pp.37-38)
- 中学生に学年が上がると自尊感情、自己肯定感に関する指標項目の数値が減少する1つの現れとして、児童生徒の不登校数が増加していることも考えられます。【P22資料編 図表3】
その中で、小中学生の不登校（年間欠席数が30日以上）の要因を見てみると、自尊感情、自己肯定感に関する「無気力傾向にある」、「不安の傾向にある」を選んだ児童生徒で、「家庭に係る状況（家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等）」、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」、「学業不振」が要因として多く挙げられています。
(平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果【岩手県公立学校分】：文部科学省)【P22資料編 図表4】
- また、不登校の前段階の不登校傾向にある中学生(年間欠席数が30日未満)の中学校に行きたくない理由として多く挙げられるのが、「疲れる」、「朝、起きられない」であり、生活習慣の変化が1つの要因と考えられます。さらに

学習面として「授業がよくわからない」、「良い成績が取れない」、「テストを受けたくない」なども理由として挙げられており、これらの理由により自尊心や自己肯定感が低下しているとも考えられます。

（不登校傾向にある子どもの実態調査：平成30年度日本財団）

【P23～24資料編 図表5、6】

(3) 成果と課題【資料編】

北上市地域教育力向上行動計画における指標実績（本市の推移）【図表1】

		全国学力・学習状況調査 質問紙調査項目	調査対象	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子どもたちの心	命を大切にす	自分には、良いところがあると思いますか。	小6	【目標】		76.9	77	77.1	77.1	77.2	77.3
			【北上市】	76.8	72	76.6	71.3	85.8	80.1		
		中3	【目標】		66.3	66.6	67	67.4	67.7	68.1	
		【北上市】	65.9	64	69.8	70.2	73.4	73			
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	小6	【目標】		96.9	96.8	97	97.2	97.4	97.6	
		【北上市】	96.4	97.5	97	96.6	98.1	98.1			
	中3	【目標】		95.5	95.6	95.7	95.7	95.8	95.9		
	【北上市】	95.4	95.9	96.1	94.8	96.9	97.4				
	人と関わる力	友だちに伝えたいことをうまく伝えることができますか。（平成27年度から質問項目は変更された：生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。に代替されています。）	小6	【目標】		75.7	76	76.4	76.7	77.1	77.4
			【北上市】	75.3	87.6	85.8	87	83.6	80.5		
		中3	【目標】		74.6	74.7	74.8	74.8	74.9	75	
		【北上市】	74.5	81.8	84.1	85.3	79	77.7			
人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。（平成28年度から質問項目が削除された：人の役に立つ人間になりたいと思いますか。に代替しています。）	小6	【目標】		95	95.3	95.7	96	96.3	96.6		
	【北上市】	94.7	94.2	95.4	92.8	96.6	96.7				
中3	【目標】		96.8	96.9	97	97	97.1	97.2			
【北上市】	96.7	97.7	94.4	93.4	96.4	97.2					
故郷を愛する	今の住んでいる地域の行事に参加していますか。	小6	【目標】		85.9	86	86.1	86.1	86.2	86.3	
		【北上市】	85.8	81.4	82.4	80.4	80	84.7			
	中3	【目標】		64.1	64.5	65	65.4	65.9	66.3		
	【北上市】	63.6	62.9	61.2	62.2	54.7	63.9				
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。（平成28年度のみ質問項目が削除された：地域で起こっている出来事に関心がありますか。に代替しています。）	小6	【目標】		48.7	48.8	48.9	48.9	49	49.1		
	【北上市】	48.6	45.3	74.5	45.7	52.2	63.8				
中3	【目標】		38.7	38.8	38.9	38.9	39	39.1			
【北上市】	38.6	41.3	71.4	42.1	42.1	60.2					
感動する心	読書は好きですか。（平成30年度調査項目としてなし）	小6	【目標】		73.9	74.4	75	75.6	76.1	76.7	
		【北上市】	73.3	68.2	77.2	74.3	—	78.1			
	中3	【目標】		72.3	72.5	72.8	73	73.2	73.4		
	【北上市】	72.1	72.7	75.5	73.1	—	70.9				
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。（平成30年度調査項目としてなし）	小6	【目標】		94.5	94.6	94.7	94.8	94.9	95		
	【北上市】	94.4	91.5	94.1	94.1	—	95.7				
中3	【目標】		93.7	93.9	94	94.1	94.3	94.4			
【北上市】	93.6	95.8	93.9	94.6	—	94.9					
自分の未来を拓く力	将来の夢や目標を持っていますか。	小6	【目標】		86.4	86.6	86.9	87.2	87.4	87.7	
		【北上市】	86.1	85.9	85.2	87.6	89.2	87.5			
	中3	【目標】		75.1	75.2	75.3	75.3	75.4	75.5		
	【北上市】	75	73.5	71.2	71.5	66.6	73.1				
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。（平成30年度調査項目としてなし）	小6	【目標】		79.1	79.2	79.3	79.3	79.4	79.5		
	【北上市】	79	77.5	80.5	78.1	—	83.7				
中3	【目標】		70.9	71	71.1	71.1	71.2	71.3			
【北上市】	70.8	71.4	74.5	76.7	—	74.7					
子どもの学ぶ力	学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。1時間以上している割合	小6	【目標】		74.9	75	75.1	75.1	75.2	75.3	
		【北上市】	74.8	77.4	77.8	75.5	75.9	80.4			
	中3	【目標】		62.9	64.1	65.3	66.5	67.7	68.9		
	【北上市】	61.7	63.7	63.4	65.6	63.4	68				
学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。30分以上している割合	小6	【目標】		36	36.6	37.3	37.9	38.6	39.2		
	【北上市】	35.3	33.9	36.9	36.7	43.2	42.9				
中3	【目標】		31.2	31.9	32.5	33.1	33.8	34.4			
【北上市】	30.6	30.7	26.1	29.8	26.2	25.7					

※赤文字及び下線が引かれている調査項目及び調査対象については、本市の平成26年度と令和元年を比較し、減少している調査項目及び調査対象を表しています。

■ 目標よりも低い

■ 目標よりも低く、県または全国よりも低い

■ 県または全国よりも低い

○→○ H28年度の小学6年生の結果とその小学生が中学3年生になるR1年度の結果を比較し、数値が増加している場合を表しています。

△→△ H28年度の小学6年生の結果とその小学生が中学3年生になるR1年度の結果を比較し、数値が減少している場合を表しています。

北上市地域教育力向上行動計画における指標実績の比較【図表2】

■同一対象者を比較したもの							
例) 平成28年度に小学校6年生だった者は、令和元年度に中学3年生であること。							
	全国学力・学習状況調査 質問紙調査項目	H26小6	H29中3	H27小6	H30中3	H28小6	R1中3
		同一対象者比較		同一対象者比較		同一対象者比較	
子どもたちの目指す姿	命を大切にす 自分には、よいところがあると思いますか	76.8	70.2	72.0	73.4	76.6	73
		▲ 6.6		1.4		▲ 3.6	
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	94.8	97.5	96.9	97	97.4
		▲ 1.6		▲ 0.6		0.4	
	人と関わる力 友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか (平成27年度から質問項目が変更された：生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますかに代替しています。平成30年度からさらに質問項目が変更された：友達の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますかに代替しています。)	75.3	85.3	87.6	79.0	85.8	77.7
		10.0		▲ 8.6		▲ 8.1	
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか (平成28年度から質問項目が削除された：人の役に立つ人間になりたいと思いますかに代替しています。)	94.7	93.4	94.2	96.4	95.4	97.2
		▲ 1.3		2.2		1.8	
	心故郷を愛する 今住んでいる地域の行事に参加していますか	85.8	62.2	81.4	54.7	82.4	63.9
		▲ 23.6		▲ 26.7		▲ 18.5	
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (平成28年の質問項目が削除された：地域で起こっている出来事に関心がありますかに代替しています)	48.6	42.1	45.3	42.1	74.5	50.2
		▲ 6.5		▲ 3.2		▲ 24.3	
感動する心 読書は好きですか (平成30年度調査項目なし)	73.3	73.1	68.2		77.2	70.9	
	▲ 0.2				▲ 6.3		
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか (平成30年度調査項目なし)	94.4	94.6	91.5		94.1	94.9	
	0.2				0.8		
切り拓く未来を 将来の夢や目標を持っていますか	86.1	71.5	85.9	66.6	85.2	73.1	
	▲ 14.6		▲ 19.3		▲ 12.1		
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか (平成30年度調査項目なし)	79	76.7	77.5		80.9	74.7	
	▲ 2.3				▲ 6.2		
子どもの学ぶ力 学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。1時間以上している	74.8	65.6	77.4	63.4	77.8	68	
	▲ 9.2		▲ 14.0		▲ 9.8		
学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。30分以上している	35.3	29.8	33.9	26.2	36.9	25.7	
	▲ 5.5		▲ 7.7		▲ 11.2		

不登校出現率【図表3】

	単位	H27年3月	R元年度末
本市の不登校出現率（小学校）	%	0.19 〔 県出現率 0.22の86% 〕	0.54 〔 県出現率 0.55の98% 〕
本市の不登校出現率（中学校）	%	1.59 〔 県出現率 2.23の71% 〕	3.06 〔 県出現率 3.07の99% 〕

不登校の要因【図表4】

【小学校】

学校、家庭に係る要因（区分） 本人に係る要因（分類）	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
		いじめ	問題関係	人々を排除する友	いじめをめぐるとの問題	教職員との関係	学業不振	進路に係る不安	応答活動等への不適		
「学校における人間関係」に課題がある	21	2	12	6	3	0	0	2	2	5	1
「あそび・非行」の傾向がある	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0
「無気力」の傾向がある	65	0	7	1	18	0	0	0	1	54	7
「不安」の傾向がある	134	0	30	12	32	3	2	3	14	82	24
「その他」	61	1	5	3	5	0	0	3	1	48	12
計	283	3	54	23	59	3	2	8	18	191	44

【中学校】

学校、家庭に係る要因（区分） 本人に係る要因（分類）	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
		いじめ	問題関係	人々を排除する友	いじめをめぐるとの問題	教職員との関係	学業不振	進路に係る不安	応答活動等への不適		
「学校における人間関係」に課題がある	140	6	110	19	26	9	31	4	6	34	3
「あそび・非行」の傾向がある	21	0	7	2	9	2	2	2	0	17	0
「無気力」の傾向がある	244	0	27	7	101	19	32	13	9	131	42
「不安」の傾向がある	351	0	159	8	99	37	38	11	32	132	41
「その他」	219	0	20	6	20	8	13	5	11	106	91
計	975	6	323	42	255	75	116	35	58	420	177

平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果【岩手県公立学校分】：文部科学省

不登校傾向にある中学生数【図表5】

	調査結果 (%)	人口推計 (人)
全体	(n = 6,450)	3,251,684
①-1、1年間に合計30日以上、学校を休んだことがある／休んでいる	3.1	99,850
①-2、一週間以上連続で、学校を休んだことがある／休んでいる	1.8	59,921
②、学校の校門・保健室・校長室等には行くが、教室には行かない ②-1、校門や学校の玄関まで行ったが、校舎に入らなかったことがある ②-2、授業中に、保健室や校長室など、教室以外の場所で過ごした・勉強した（月2～3回以上、もしくは1週間続けて） ③、基本的には教室で過ごす、授業に参加する時間が少ない ③-1、1か月に遅刻・早退を5日以上したことがある／している ③-2、授業を受けずに、給食だけ食べるためだけに登校したことがある ④、基本的には教室で過ごす、皆とは違うことをしがちであり、授業に参加する時間が少ない （「教室にはいたが、皆とは別の勉強など、他のことをしていた」月2～3回以上、もしくは1週間続けて）	4.0	130,703
⑤、基本的には教室で過ごし、皆と同じことをしているが、心の中では学校に通いたくない・学校が辛い・嫌だと感じている	4.4	142,161
⑥ ①～⑤非選択	86.7	2,819,049

不登校傾向にある子どもの実態調査：平成30年度日本財団

中学校に行きたくない理由【図表6】

赤字は「⑥ ①～⑤非選択」と比較し20pt以上高い項目

	⑥ ①～⑤非選択	①-1、1年間に合計30日以上、学校を休んだことがある／休んでいる	①-2、一週間以上連続で、学校を休んだことがある／休んでいる	②～④のいずれか選択	⑤、基本的には教室で過ごし、皆と同じことをしているが、心の中では学校に通いたくない・学校が辛い・嫌だと感じている
1位	疲れる (25.7)	朝、起きられない (59.5)	疲れる (38.2)	疲れる (44.0)	疲れる (48.7)
2位	朝、起きられない (19.2)	疲れる (58.2)	朝、起きられない (32.6)	朝、起きられない (35.6)	朝、起きられない (32.2)
3位	テストを受けたくない (16.0)	学校に行こうとすると、体調が悪くなる (52.9)	自分でもよくわからない (31.0)	授業がよくわからない・ついていけない (33.3)	学校に行く意味がわからない (31.9)
4位	自分でもよくわからない (15.0)	授業がよくわからない・ついていけない (49.9)	友達とうまくいかない (30.1)	友達とうまくいかない (28.5)	学校は居心地が悪い (28.4)
5位	小学校の時と比べて、良い成績が取れない (13.0)	学校は居心地が悪い (46.1)	授業がよくわからない・ついていけない (29.2)	小学校の時と比べて、良い成績が取れない (27.1)	テストを受けたくない (28.2)
6位	部活がハード (11.8)	友達とうまくいかない (46.1)	小学校の時と比べて、良い成績が取れない (28.9)	テストを受けたくない (27.0)	小学校の時と比べて、良い成績が取れない (27.8)
7位	授業がよくわからない・ついていけない (11.6)	自分でもよくわからない (44.0)	学校に行こうとすると、体調が悪くなる (28.1)	先生とうまくいかない／頼れない (26.1)	授業がよくわからない・ついていけない (27.3)
8位	友達とうまくいかない (10.1)	学校に行く意味がわからない (42.9)	学校は居心地が悪い (24.5)	学校は居心地が悪い (25.9)	先生とうまくいかない／頼れない (26.1)
9位	校則など学校の決まりが嫌いだ (7.1)	先生とうまくいかない／頼れない (38.0)	先生とうまくいかない／頼れない (23.4)	校則など学校の決まりが嫌いだ (22.5)	小学校の時と比べて、つまらない (25.0)
10位	小学校の時と比べて、つまらない (6.7)	小学校の時と比べて、良い成績が取れない (33.9)	テストを受けたくない (23.2)	小学校の時と比べて、つまらない (21.8)	友達とうまくいかない (24.1)

不登校傾向にある子どもの実態調査：平成30年度日本財団

第3章 地域教育力向上の基本的な考え方

地域教育力向上においては、子ども、家庭、地域、学校及び行政の5者がそれぞれの役割を果たすことが重要です。子どもたちが目指す姿を育み、地域教育力の向上に向けて、5者の担う役割の基本的な考え方のもと、基本的な施策に取り組みます。

1 子どもたちが目指す姿

子どもたちが目指す姿は、自己の人格を磨き、地域社会を担い、豊かな人生を送るようになることやこれからの変化の激しい社会を生き抜くうえで必要な力を身に付けるようになることです。これらは、子どもたちの学ぶ力を高めることで育まれる姿を示しています。

この子どもたちが目指す姿を、生命や人権を尊重する「命を大切に作る心」、規範尊重や他者との良好な関係を構築するための「人と関わる力」、生まれ育った郷土の歴史、風土、文化などに対する愛着と誇りを持つ「郷土を愛する心」、豊かな情操や感性を磨く「感動する心」、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、たくましい意思や自立心を養う「自分の未来を切り拓く力」の5つとしました。

2 地域教育力向上の系統図

地域教育力向上の取り組みは、子ども、家庭、地域、学校及び行政の5者が、子どもたちを取り巻く現状や課題、そして子どもたちの目指すべき姿を共有することが必要です。それぞれの役割を実践することで、地域の教育力を向上させ、子どもたちが学ぶ力を高め、自らの未来を切り拓くたくましい人生を送ることを目指しています。

図1は、地域教育力の向上により、北上市教育振興基本計画の基本目標に至る系統図を示しています。

図1

未来に向かい 自ら学び 地域を互いに支える人づくり

地域教育力向上推進の合言葉

学びあい みんなで育つ 北上っ子

【子どもたちが目指す姿】

- ・命を大切にする心
- ・人と関わる力
- ・郷土を愛する心
- ・感動する心
- ・自分の未来を切り拓く力

生きる力を身に付け、未来の地域の担い手となる

生活に必要な習慣を身に付けさせ、自立心を育成する

豊かな人間性や社会性を育む

地域社会と連携し、知・徳・体の向上を図る

情報の共有化、人材育成などを支援する

子ども

家庭

地域

学校

行政

5者の役割

現状を把握・認識する

現状の有効性・不備を分析

5者が現状・課題を共有する

課題を把握・認識する

課題への対応を考える

少子化・高齢化

核家族化

他人との関わり
の希薄化

地縁的つながり
の希薄化

共働き世帯の
増加

インターネット・
携帯電話の普及に
よる有害情報

自由に遊べる
環境の減少

国際化

絶えず変化する地域や子どもを取り巻く社会環境や課題

3 5者の役割の実践

地域教育力向上においては、子ども、家庭、地域、学校及び行政の5者がそれぞれの役割を果たすことが重要です。地域教育力の向上に向け、5者の担う役割の基本的な考え方や、基本的な施策、子どもたちの目指す姿のためにそれぞれの主体が実践できる事例を示します。

(1) 子どもの役割

(基本的な考え方)

学力の向上と心身ともに健康であることに加え少子高齢社会の到来、雇用形態の変化や価値観・生活様式の多様化、情報化の進展など、さまざまな社会変化に対応していくための生きる力を身に付け、未来の地域の担い手となるよう学び続けることが重要です。

※「生きる力」とは、「変化が激しく、新しい未知の課題に試行錯誤しながらも対応することが求められる複雑で難しい次代を担う子供たちにとって、将来の職業や生活を見通して、社会において自立的に生きるために必要とされる力」を表しています。

(平成20年1月17日 中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」)

- 広い知識、豊かな心、健やかな体を養います
 - ・ 心と体を鍛え、他人を思いやる心を持ちます。
 - ・ 意欲をもって学習します。
 - ・ 「北上っ子5つのやくそく」を実践します。
 - ・ 読書をします。

- 地域を大切にし地域行事に参加します
 - ・ さまざまな体験活動に参加し経験を積む中で、学ぶことの楽しさを知ります。
 - ・ 地域の文化や歴史を学び理解を深めます。
 - ・ 地域の奉仕活動に積極的に参加するなど地域に貢献することで、地域や地域の人たちを大切にします。

- 基本的な生活習慣を身に付けます
 - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」を実践し、よく体を動かし、よく食べ、よく眠るといった基本的な生活習慣を保護者と一緒に身に付け、規則正しい生活リズムをつくります。

- ・ 情報モラルについて学び、家庭で携帯電話等の使用のルールを作り、そのルールを守り、情報メディアと上手に付き合います。

子どもたちが目指す姿

「命を大切にする心」

「人と関わる力」

「郷土を愛する心」

「感動する心」

「自分の未来を切り拓く力」

(2) 家庭の役割

(基本的な考え方)

子どもの健やかな成長のため、家庭の果たす役割は大切です。家庭では地域社会とともに生活に必要な習慣を身に付けさせ、自立心を育成し心身の調和のとれた人間形成を図ることが重要です。

- 「子どもの育ち」について関心を持ちます
 - ・ 学校や地域で行われる家庭教育に関する研修会や講演会に参加し、大人へと成長する「子どもの育ち」について理解を深めます。
 - ・ 子どもの心や体の変化に関心を持ち、安心できる環境を整えます。

- 基本的な生活習慣を身に付けさせます
 - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」を実践し、よく体を動かし、よく食べ、よく眠るといふ基本的な生活習慣を保護者も一緒に身に付け、規則正しい生活リズムをつくります。
 - ・ 「北上っ子5つのやくそく」を実践し、家庭の中で役割分担をし、手伝いをさせたり、何事にも諦めずチャレンジさせたりするなど自立心を養います。
 - ・ 家庭での会話を大切にし、子どもの安心感や信頼感を高めます。
 - ・ 情報メディアと上手に付き合うため、家庭で携帯電話等の使用のルールを作るなど、子どもの自律性を養います。

- 学校や地域との連携を図ります
 - ・ 家庭、地域、学校をつなぐPTA活動に積極的に参加します。
 - ・ 学校の方針を理解し目標を共有していくため、学校行事に積極的に参加します。
 - ・ 信頼感を持ち、教師と良好な関係を保てるよう、教育実践方針や学級の様子に関心を持ちます。
 - ・ 保護者が手本となり率先して地域活動に参加するなど、住民との交流を深めます。
 - ・ 地域のために頑張っている大人の姿を評価し、その意義を子どもに伝えます。

- 地域の施設を利用します
 - ・ 子どもと一緒に図書館や博物館などの教育施設を利用するなど一緒に学びます。

子どもたちが目指す姿のために家庭ができることの事例

命を大切に作る心

子どもを抱きしめたり、子どもが目標に向かっていく姿を認め子どもが「自分はかけがえのない大切な存在だ」と思う心を持たせるとともに「同じように、他の人も大切な存在である」ことを教える。

人と関わる力

保護者が手本となり、家庭や地域であいさつを交わす。地域の活動や行事、学校行事に保護者も積極的に参加する。

郷土を愛する心

地域行事や地域の自然や歴史などについて学ぶ講座、郷土芸能の伝承活動に参加するよう促す。地域の活動や行事への参加等を通じて、保護者が知っている地域の歴史や自然などを子どもに伝える。

感動する心

家族で文化、芸術、スポーツ、自然などにふれる機会をつくり、その体験から感じたことなど家族で会話を交わす。

自分の未来を切り拓く力

子どもが暮らしのさまざまな場面で困難に直面したとき、適切に見守り励まししながらチャレンジしていく意欲を育てていく。

さまざまなボランティア活動やスポーツ・芸術活動に積極的に参加する。

(3) 地域の役割

(基本的な考え方)

地域は、子どもたちが豊かな心を育むために大切な場です。

体験の機会を提供し、同世代や異世代との交流を通して豊かな人間性や社会性の育成を図ることが重要です。

- さまざまな体験活動や学びの機会を提供します
 - ・ 地域に伝わる祭りや行事など、大人たちや年齢、性別の垣根を越えた交流の機会を提供します。
 - ・ スポーツやレクリエーションなど、年齢に応じた子どもと保護者との共同体験の機会を提供します。
 - ・ 自然体験、農業体験など、地域の環境を生かした体験活動を提供します。
 - ・ 歴史、文化や自然など、地域の魅力を発見する学習機会を提供します。
 - ・ 地域で目標を持って働く大人やさまざまな思いを持って活動している大人とふれ合う機会を提供します。
 - ・ 子どもたちに地域の歴史や文化などを教えることのできる地域の人材を育成するため、大人にも学習の機会を提供します。
 - ・ 家庭教育学級など保護者の学びの機会を提供します。
 - ・ 家庭や学校などと連携し、情報メディアと上手に付き合うための学習の機会を提供します。

- 安全で安心な地域をつくります
 - ・ あいさつ運動、防犯活動、スクールガードなどを行い、地域の子どもたちを温かく見守り育てていきます。
 - ・ 子どもの居場所づくりや放課後活動など、子どもたちを見守る活動に参加します。

- 学校と連携・協働し、子どもたちの成長を支えます
 - ・ 北上市の目指すコミュニティ・スクールに取り組み、地域と学校でどのように子どもを育てるか、何を目指していくのかといった目標やビジョンを共有しながら、学校行事や地域の特色を生かした教育活動を連携・協働して行います。

- 各企業や事業所、NPO法人などは、地域社会への理解を深め地域貢献活動を行います
 - ・ 専門性を生かし職場体験などの教育活動に協力します。
 - ・ 将来を担う子どもたちに働くことの意義を伝えます。
 - ・ 地域行事、PTA活動などへ社員らが参加する意義を理解し奨励します。

子どもたちが目指す姿のために地域ができることの事例

命を大切にする心

学校で行われる植物の栽培、収穫活動などに協力し、命を大切にする心を育む。

人と関わる力

子どもとあいさつを交わしたり、「愛の一声」(※)をかけたりしながら、子どもたちを見守り、地域の大人に守られているという安心感を持たせる。

ルールを示し、守ることの大切さを理解させる。

郷土を愛する心

地域の自然や歴史などについて学ぶ講座の開催や、郷土芸能の伝承活動に取り組む。

地域の清掃活動など、美しい地域づくりに取り組む。

感動する心

地区の文化祭などで芸術や文化にふれる機会や、地域の景観に触れる機会をつくる。

地域行事などで大人が地域のために力を合わせ、一所懸命に働く姿を見せる。

自分の未来を切り拓く力

球技大会などのスポーツ活動や宿泊体験、自然体験などの体験活動など、仲間とともに考え、最後までやり遂げる機会をつくる。

※愛の一声…地域の人々が子どもたちを温かく見守り声をかけること

(4) 学校の役割

(基本的な考え方)

子どもに知識や技能を教えるとともに、その背景にある物事の本質を考えさせ、子どもの発達段階に応じた体系的かつ組織的な教育を行い、地域社会と連携し知・徳・体の向上を図ることが重要です。

- 地域の人材や施設、自然環境、地域行事などを活用し、知・徳・体の向上に努めます
 - ・ スポーツ、郷土芸能、農業などの地域ボランティアの協力による教育活動を行います。
 - ・ 地域の自然観察や職場訪問など、地域の自然や施設を生かした教育活動を行います。
 - ・ 情報モラルについて、児童生徒の実態に合わせて指導を行い、家庭や地域と連携し、子どもたちの規則正しい生活習慣を養います。

- 家庭と地域との連携を強化します
 - ・ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各学校、学級において最低限どのようなことを身に付けさせるかを設定した「まなびフェスト」を作成し、学校経営計画や達成目標を家庭と地域で共有します。
 - ・ 地域行事への参加を奨励するなど、地域行事の意義を理解し、地域との連携に努めます。
 - ・ 北上市の目指すコミュニティ・スクールに取り組み、地域と連携・協働し、一体となって子どもたちの成長を支えます。

子どもたちが目指す姿のために学校ができることの事例

命を大切にする心

自他の命の大切さを理解し「自分を傷つけない」「他人を傷つけない」という心の教育を充実させる。

人と関わる力

コミュニケーションづくりの一步となる、あいさつ運動に地域や家庭と連携しながら取り組む。

地域清掃や幼稚園、保育園への訪問、老人ホームへの慰問などボランティア活動を行う。

郷土を愛する心

総合学習の時間などで、地域の人を指導者（ゲストティーチャー）として招き地域の大人に地域のことを教えてもらう機会をつくる。

感動する心

目標に向かって仲間と協力し何度も練習を積み重ねることで、やり終えた達成感を感じるよう、運動会や音楽会などの学校行事に目標を持って取り組ませる。

自分の未来を切り拓く力

クラスや学年、学校目標を達成するために、仲間と励まし合いながら最後まで諦めずに粘り強く取り組むことの大切さを教えながら、自ら学び考え、行動する力を育てる。

(5) 行政の役割

(基本的な考え方)

家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たしながら、それぞれの枠を越えてこれまで以上に連携が有効に促進されるよう、情報の共有化及び人材育成などの推進を図ることが重要です。

- 各種支援を行います
 - ・ 学童保育所や放課後子ども教室などの子育て支援を行います。
 - ・ P T A 活動や家庭教育などへの支援を行います。
 - ・ 自治組織や地域活動への支援を行います。
 - ・ 出前講座やボランティア登録制度などを活用した学校支援を行います。
 - ・ 芸術やスポーツに関する支援を行います。
 - ・ ワーク・ライフ・バランスの啓発を行います。
 - ・ 育児と仕事の両立の支援を行います。

- 家庭、地域、学校間の連携を促進します
 - ・ 広報やホームページを利用して活動を紹介し、情報の共有化を推進します。
 - ・ フォーラムを開催し、実践事例など新たな取り組みに活用できるような情報を提供します。
 - ・ 家庭、地域、学校が連携する際に連絡調整や活動を企画していく人材を育成します。
 - ・ 家庭、地域、学校の連携によるさまざまな教育活動を促進します。
 - ・ 各企業や事業所、N P O 法人との連携を促進し共通理解を図ります。

- 体験学習の機会を提供します
 - ・ 図書館や博物館などの社会教育施設で体験学習の機会を提供します。
 - ・ 生涯学習に関する情報の収集及び提供などにより、地域や学校での体験学習を支援します。

子どもたちが目指す姿のために行政ができることの事例

命を大切にする心

食の大切さ、安全安心な食べ物を選択する力、感謝と思いやりの心を育む食育の推進を図る。

相手を思いやる気持ちや自分の言動に責任を持つことを伝えるため、情報モラルについての情報提供、講演会などを開催する。

人と関わる力

北上っ子5つのやくそくの「自分から明るく笑顔であいさつ」をはじめとしたあいさつ運動の推進を図る。

郷土を愛する心

地域の歴史や文化などを知り、子どもたちに伝えていく人材を育成するため、地域と連携しながら郷土芸能の体験や地域の歴史学などの講座を開催する。

感動する心

感性を養い、創造力を豊かにし、心や体の成長を促す文化、芸術、スポーツ、自然活動などの支援をする。

北上市子どもの読書活動推進計画に基づいた、読書の推進を図る。

自分の未来を切り拓く力

学び続ける意欲を持った人材を育成するため、生涯学習の推進を図る。

さまざまな生涯学習活動やボランティア活動のネットワークづくりを推進する。

4 地域と学校の連携・協働の充実

社会情勢の変化などによる子ども達を取り巻く環境の変化に対応するため、今後は、5者それぞれの役割を果たすだけでなく、5者の更なる連携・協働が必要となります。

その中でも核となる取り組みが、地域と学校が連携・協働する「※コミュニティ・スクール」の取り組みです。

【コミュニティ・スクールに取り組む背景】

岩手県において、学校、家庭、地域、住民などが総ぐるみで地域の教育課題の解決に自主的に取り組む教育振興運動を展開しています。それに伴い本市でも、地域の資源や人材を活用しながら地域教育力向上につながる様々な取り組みを実施し、地域社会全体で子どもたちの生きる力を育てています。

また、国でも、地域における学校との協働体制の在り方について、「※地域学校協働活動」を推進すること、その活動を推進する新たな体制として「※地域学校協働本部」を整備することなどを提言しています。さらに、「社会に開かれた教育課程」を実現し、社会総がかりで子どもたちの生きる力を育むために学習指導要領の改訂を行いました。その具体的な取り組みとして、学校運営や必要な支援に関する協議をする「学校運営協議会制度」と、「地域学校協働活動」の一体的推進が重要とされています。

国で言う地域学校協働活動は、本市がこれまで実施してきた地域教育力向上の取り組みであると言えます。本市では地域教育力向上のために行ってきた取り組みを活かしながら、学校と地域をつなぐ「コーディネート機能」、より多くの地域住民等の参画による「多様な活動」、多様なネットワークによる「継続的な活動」の3要素を備えた地域学校協働本部を各地区で組織することを目指しています。

このような状況を踏まえ本市では、学校と地域の協働活動が一層充実し、児童生徒の健全育成、学力向上、地域教育力の向上、地域の活性化を図るために地域学校協働本部の体制の整備を促し、「※北上市の目指すコミュニティ・スクール」に取り組めます。

地域教育力向上の取り組みと地域学校協働活動の関係性

地域教育力向上の取り組み

(5者(子ども、家庭、学校、地域、行政)
が役割を実践)

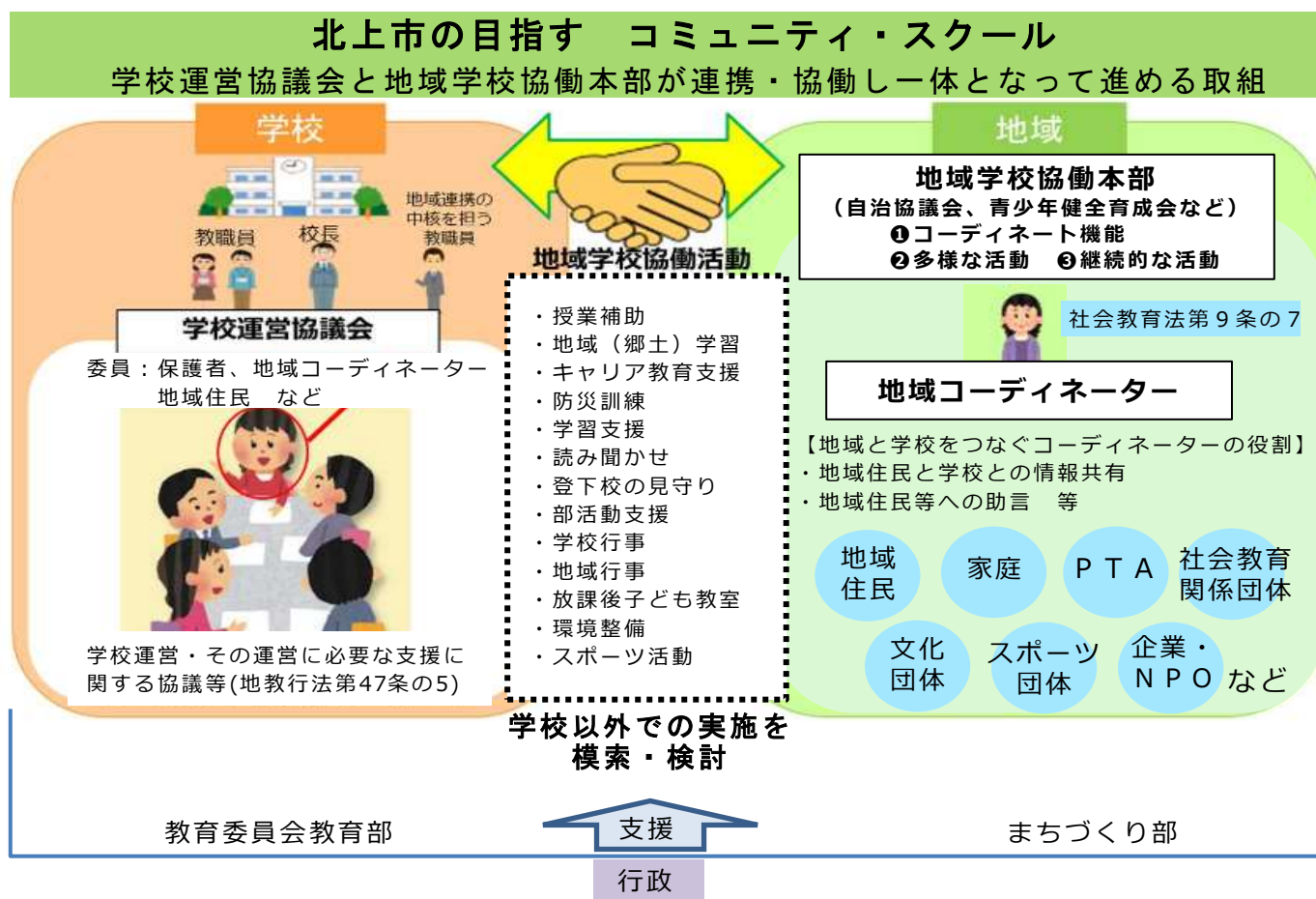
地域学校協働活動

(学校と地域の連携・協働により実践)

※北上市の目指すコミュニティ・スクール

市内の小中学校における学校運営協議会と市内 16 地区における地域学校協働本部において目標やビジョンを共有し、連携・協働することにより、効果的に地域学校協働活動を進めようとする取り組みのことであります。

地域と学校でどのような子どもを育てるか、何を目指していくのかといった目標やビジョンを共有し、子どもの生きる力を地域社会全体で育む体制作りに取り組み、地域と学校が連携・協働し一体となって子どもたちの成長を支えます。



○地域学校協働活動の推進体制

北上市の目指すコミュニティ・スクールは、学校側に設置する学校運営協議会及び地域側に設置する地域学校協働本部が両輪となって連携・協働し子どもたちの成長を支えるもので、学校運営協議会は教育委員会教育部学校教育課、地域学校協働本部はまちづくり部生涯学習文化課が主管課として推進していきます。

学校運営協議会については、令和4年度までに設置の義務化が見込まれており、それに合わせて各地区に地域学校協働本部も設置できるように取り組みを進めていきます。地域学校協働本部で行う地域学校協働活動については、北上市地域教育力向上推進委員会の中で情報共有、状況確認等を行い、よりよい活動となるよう取り組みを進めていきます。

【国で提言・定義されている内容】

※コミュニティ・スクール

学校運営協議会を設置した学校のこと。学校運営について教職員、保護者、地域住民、地域コーディネーターなど広い関係者で協議し、その声を積極的に生かし、学校が地域と一体となって特色ある学校づくりを進める学校の体制のこと。

※地域学校協働活動

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして、連携・協働して行う様々な活動のこと。

例：登下校の見守り、地域行事、放課後子ども教室、環境整備など

※地域学校協働本部

より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制のこと。その整備にあたっては、①コーディネート機能、②多様な活動（より多くの地域住民等の参画による多様な地域学校協働活動の実施）、③継続的な活動（地域学校協働活動の継続的・安定的実施）の3要素を必須とすることが重要。

第4章 地域教育力向上の重点施策の展開

1 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進

【現状と課題】

- 不登校の中学生及び不登校の前段階の不登校傾向にある中学生（年間欠席数が30日未満）の中学校に行きたくない理由の上位が「疲れる」「朝、起きられない」であり、生活習慣の変化が1つの要因として考えられます。
- 朝食を毎日食べている子どもほど、学力調査の平均正答率や体力合計点で高い傾向にあります。また、毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きている子どもほど学力調査の平均正答率も高い傾向にあります。
- 子どもたちの生活習慣の変化が、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。
- 小中学生の携帯電話やスマートフォンの所持率の増加や使用時間の増加の影響による睡眠時間の減少が懸念されることから、地域社会全体で子どもがより一層規則正しい生活習慣を身に付けられるようにすることが必要です。
- 子どもが健やかに成長できるよう取り組みを推進していく必要があります。

【具体的施策】

- 家庭における食事、睡眠などの乱れを個々の家庭や子どもの問題として見過ごすことなく、地域社会全体の問題として子どもの規則正しい生活習慣の確立を目指し、生活リズムの向上を図るため関係機関と連携し、小中学校の長期休暇等に合わせて啓発活動を行います。

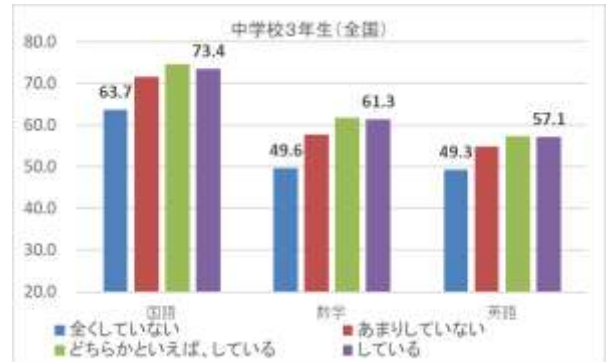
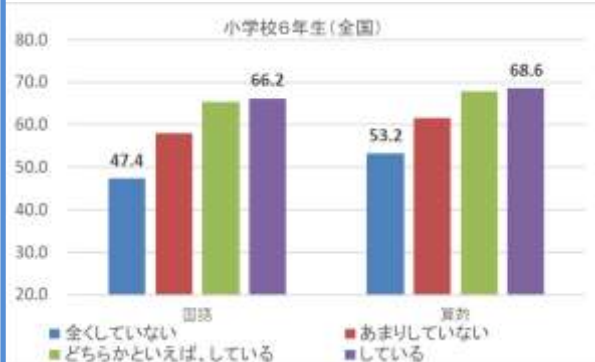
【施策の達成度合いを図る指標】

指標名	対象	単位	現状値	目標値
			令和元年度	令和7年度
毎日同じくらいの時刻に寝る子どもの割合（北上市）	小学校6年生	%	42.4	45.0
	中学校3年生	%	35.3	38.0
毎日同じくらいの時刻に起きる子どもの割合（北上市）	小学校6年生	%	60.9	64.0
	中学校3年生	%	56.9	60.0
朝食を毎日食べる子どもの割合（北上市）	小学校6年生	%	89.8	93.0
	中学校3年生	%	86.7	90.0

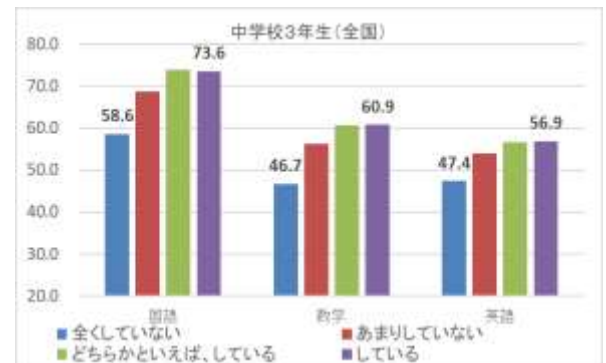
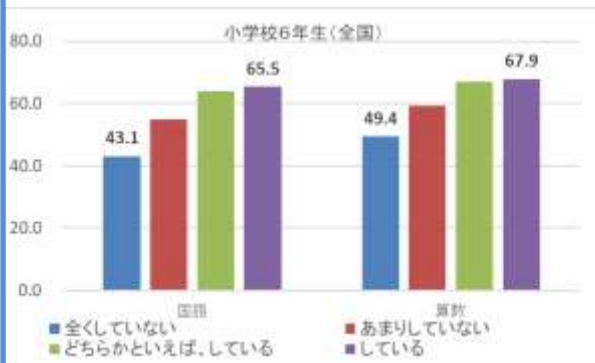
【全国学力・学習状況調査：文部科学省】

毎日、同じくらいの時刻に寝る、起きる子どもほど、学力調査の平均正答率が高い傾向にあります。(令和元年度全国学力・学習状況調査：文部科学省)

○ 毎日、同じくらいの時刻に寝るか×学力調査の平均正答率

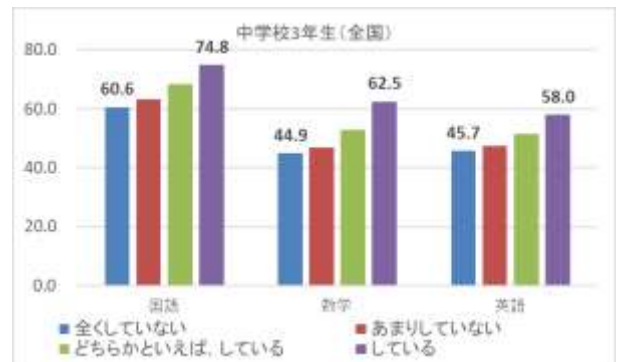
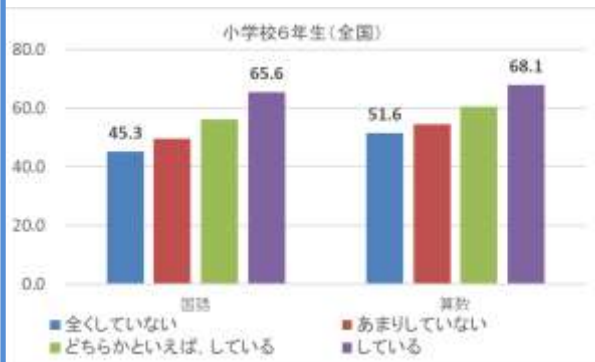


○ 毎日、同じくらいの時刻に起きるか×学力調査の平均正答率



また、毎日朝食を食べる子どもほど、学力調査の平均正答率が高い傾向にあります。(令和元年度全国学力・学習状況調査：文部科学省)

○ 毎日朝食を食べているか×学力調査の平均正答率



2 「情報メディアとの上手な付き合い方」の推進

【現状と課題】

- SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用により、犯罪に巻き込まれる事例やインターネット上での誹謗中傷が深刻化するなどの問題が顕在化してきています。
- 子どもたちの携帯電話の所持率や使用時間が増加しており、その影響として、生活習慣の変化や学力の低下が懸念されています。
- 情報を適切に取り扱う力を養うことや使用する際のルールを決めるなど、家庭内のみならず地域社会全体においても情報モラルについて考え、情報化社会への対応が必要です。

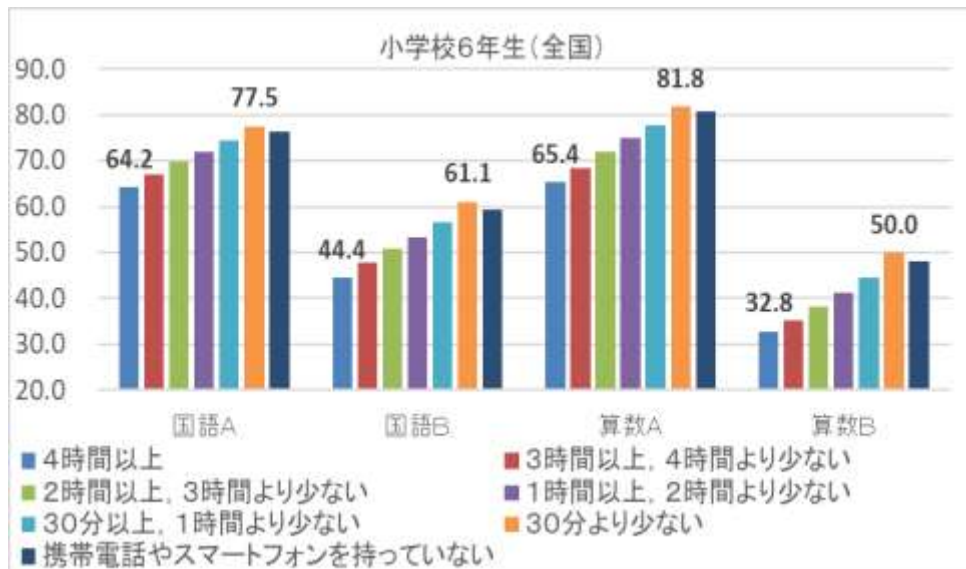
【具体的施策】

- 児童、生徒及び保護者の実態を調査し、その実態に合わせて、情報メディアと上手に付き合うことができるよう、関係機関と連携した啓発活動を行います。
- 携帯電話等のデジタルメディアとの関わり方を見直し、基本的な生活習慣の確立ができるよう、デジタルメディアを使用しない時間を設けるなどの取り組みを検討します。

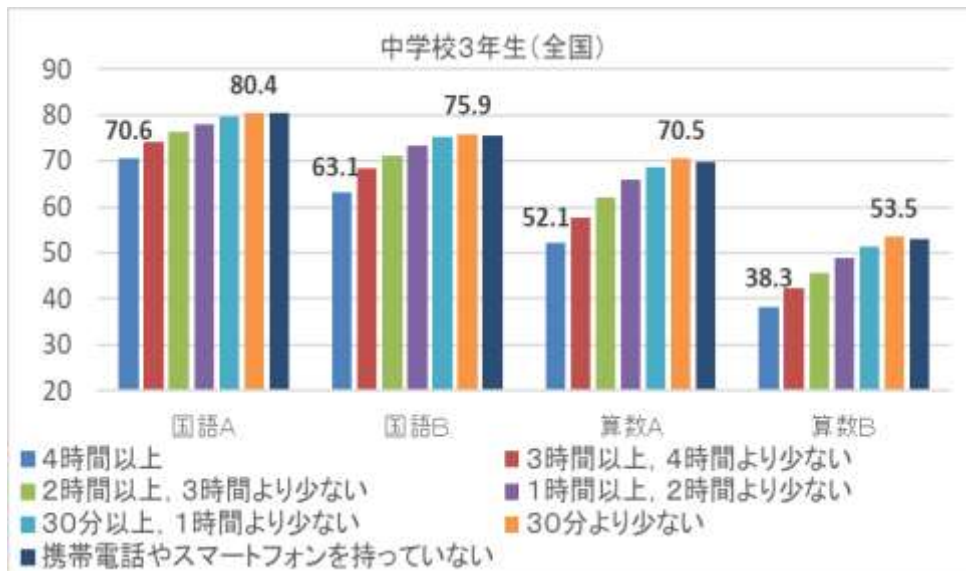
子どもたちの携帯電話の所持率や使用時間が増加しており、その影響として、生活習慣の乱れや学力の低下が懸念されています。実際に、携帯電話やスマートフォンの使用時間が長いほど、平均正答率が低いことが分かります。

(平成29年度全国学力・学習状況調査：文部科学省)

○ 携帯電話やスマートフォンの1日あたりの使用時間×学力調査の平均正答率



(平成29年度全国学力・学習状況調査：文部科学省)



(平成29年度全国学力・学習状況調査：文部科学省)

3 地域の特色を生かした実践活動の成果の共有

【現状と課題】

- 市内各地域で取り組まれている地域の特色を生かしたさまざまな活動が、北上市の地域教育力の大きな原動力となっています。
- 地域教育力を高めていくためには、人と人とのコミュニケーションを大切にしながら、地域での交流や活動を充実させ、地域全体で行動していくことが必要です。
- 地域教育力の取り組みが地域全体での取り組みとなるように地域教育力向上の取り組みを広げることが必要です。
- 北上市が目指すコミュニティ・スクールの推進等を通して、地域と学校が連携、協働し、地域学校協働活動の充実等の必要があります。

【具体的施策】

- 地域の実態に合わせた地区（小学校区、中学校区、市内16地区等）ごとの実践活動発表会の開催等の地域教育力向上に関わる取り組みの情報交流等を通して、市内各地域で取り組まれている特色を生かした活動の成果を地域社会全体で共有するとともに、活動をより深め連携させていくことで、さらなる充実を図ります。
- 地域教育力向上フォーラムを開催し、市全体で地域教育力向上の取り組みを共有し、地域教育力向上の取り組みを広げます。
- 北上市の目指すコミュニティ・スクールの推進を順次展開していきます。

【施策の達成度合いを図る指標】

指標名	単位	現状値	目標値
		令和2年度	令和7年度
フォーラムの理解度	%	82.4	85.0

4 「北上っ子5つのやくそく」の推進

【現状と課題】

- この取り組みを地域社会が一体となって行うことで、本計画の「子どもたちが目指す姿」（命を大切にできる心、人と関わる力、郷土を愛する心、感動する心、自分の未来を切り拓く力）を育むことにつながると考えます。
- 年1回夏休み前に小学1年生や3歳児の保護者へ「北上っ子5つのやくそく」のチラシを配布し、活動推進について啓発しています。
- 活動推進について啓発をしているのみであることから、取り組み状況を把握する必要があります。

【具体的施策】

- 家庭、地域、学校、行政の連携を図りながら、ポスターやチラシの配布を行い、より一層の活動を推進していきます。

5 子どもの読書活動の推進

第4次北上市子どもの読書活動推進計画（別冊）の推進

読書は、言葉を覚え、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、生きる力を身につけていく上で、大切な学びの一つであり、地域教育力を支える基礎となるものです。

家庭、地域、学校、行政が連携して子ども読書活動を推進することは、地域教育力向上の取り組みであり、その内容は「第4次北上市子どもの読書活動推進計画」として本計画に位置づけます。

【現状と課題】

- 4か月児検診の受診者に絵本をプレゼントし、その場で読み聞かせを行い、親子での絵本との付き合い方を体験してもらうブックスタートの取り組みで図書館の利用につなげています。
- 本の楽しさを知るきっかけとなる読み聞かせを市内全園で実施しています。また、読書の習慣化の動機づけとなる朝読書や読み聞かせ等を市内小中学校で実施しています。
- 市立中央図書館が開催するおはなし会等による、本の楽しさを知る取り組みのほか、新刊案内や家庭読書週間等の取り組みを通じて家庭読書の普及に取り組んでいます。
- 中学生の読書離れの傾向があることから、保育園や幼稚園、学校等発達段階でのこれまでの取り組みを継続していくほか、保護者の協力を得ながら、これまでの取り組みの見直しを含め、これからの取り組みを検討していくことが必要です。
- 子どもたちの携帯電話の所持率や使用時間が増加しているなど、環境の変化による子どもの読書離れが懸念されることから、読書を取り巻く環境の変化に対応していくことが必要です。

【具体的施策】

- **家庭・地域・学校等及び行政における読書活動の推進及び連携**
家庭をはじめ、地域や学校等及び行政が連携し、様々な機会をとらえ、読み聞かせや家庭読書の推進など、継続的な読書活動ができる環境を作ることにより、子どもが自然に読書に親しむきっかけづくりと読書習慣の基礎作りをすすめます。
- **子どもの成長に合わせた読書の楽しさの創出**
幼稚園・保育園、小学校、中学校と子どもの成長に合わせて、子どもが本に触れ、本に親しみ、ものの見方や考え方を広げ、読書の楽しさを実感し、読書習慣が身につくように努めます。
- **子どもが意欲的に本との出会いや触れ合える読書環境の整備**
子どもの身近な読書活動の拠点となる幼稚園・保育園、学校図書館、市立図書

館の図書について、子どもが意欲的に本を読むための環境整備をすすめます。また、子どもが興味や関心を持つよう、多種多様で良質な図書の充実に努めます。

○ **読書を取り巻く環境の変化への対応**

インターネットやスマートフォン等様々な情報媒体の普及のほか、学習指導要領の改訂に伴う外国語教育の拡充、コンピュータ等を活用した学習活動やプログラミング教育の導入、国際化など子どもたちを取り巻く教育環境が変化している中で、これまでの紙での読書から電子媒体による読書も考えていかなければなりません。これら読書を取り巻く環境の変化及び多様性社会への対応に努めます。

第5章 計画の推進体制と進行管理

1 計画の推進体制

本市では、取り組みの成果と課題などの検証をするため、有識者等で構成する北上市地域教育力向上推進委員会を設置しています。

この委員会では、地域の子どものために活動している地域づくり組織内の教育部会や青少年健全育成会、学校区教育実践協議会と連携し、協議・検証し、具体的な施策の実施や計画の見直し等への反映に努めます。

北上市内で地域教育力向上に関わる事業や活動を実施している社会教育・福祉関係団体や特定非営利活動法人（NPO法人）、企業等の各種関係団体との連携を図ります。

2 推進のための支援

地域教育力向上を推進するための支援として北上市全体のフォーラムの開催や活動に携わる地域人材の育成、北上市地域教育力向上活動費補助金の交付を行います。

なお、この補助金は現在、地域教育力向上の取り組みや各地域で行っている各種事業を充実させるための活動経費として地域づくり組織に対して交付するものです。

3 計画の進行管理

計画策定後の進行管理については、本計画の実効性を高めるため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）及び改善（Action）の一連の循環（PDCAサイクル）により計画を推進していきます。

資料編

「全国学力・学習状況調査・質問紙調査」【参考指標】（単位：％）

子どもたちの成長 (調査項目とした理由)		関連調査項目	R1結果【小6】			R1結果【中3】		
			市	県	全国	市	県	全国
子どもたちが目指す姿	命を大切に する心 (自尊感情や自己 肯定感、他者への 尊重の観点から)	自分には、よいところ があると思いますか。	80.1	80.5	81.2	73.0	72.6	74.1
		いじめは、どんな理由 があってもいけないこ とだと思いませんか。	98.1	97.6	97.1	97.4	96.5	95.1
	人と関わる力 (コミュニケーシ ョン能力、他者へ の思いやりの観点 から)	友達の間で話しあう活 動を通じて、自分の考え を深めたり、広げたりす ることができていると 思いませんか。	80.5	78.9	74.1	77.7	77.8	72.8
		人の気持ちが分かる人 間になりたいと思いま すか。	96.7	95.5	95.2	97.2	95.9	94.3
	郷土を愛する心 (地域の一員とし ての自覚、郷土へ の帰属意識の観点 から)	今住んでいる地域の行 事に参加していますか。	84.7	84.1	68.0	63.9	70.4	50.6
		地域や社会をよくする ために何をすべきかを 考えることがあります か。	63.8	61.1	54.5	50.2	50.2	39.4
	感動する心 (豊かな情操、達成 感の観点から)	読書は好きですか。	78.1	77.6	75.0	70.9	71.1	68.0
		ものごとを最後までや りとげて、うれしかった ことがありますか。	95.7	95.1	95.2	94.9	94.8	93.9
	自分の未来を切り拓く力 (主体性や意欲、チ ャレンジ精神の観 点から)	将来の夢や目標を持っ ていますか。	87.5	84.6	83.8	73.1	73.1	70.5
		難しいことでも、失敗を 恐れないで挑戦してい ますか。	83.7	82.1	79.0	74.7	74.9	70.3
子どもが学ば る力 (自ら学ぶ意欲の 観点から)	学校の授業時間以外に 普段(月～金曜日)、1 日当たりどれくらいの 時間、勉強をします か。1時間以上している	80.4	77.2	66.1	68.0	64.2	69.8	
	学校の授業時間以外に 普段(月～金曜日)、1 日当たりどれくらいの時 間、読書をしますか。 30分以上している	42.9	38.4	39.8	25.7	28.2	27.0	

※子どもたちの目指す姿の数値は、関連調査項目において「当てはまる」「どちらかとい
えば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合です。

※上記は子どもたちの成長度合いの傾向を把握するために全国学力・学習状況調査の質
問紙調査項目を参考とするものです。また、関連調査項目としてあげた調査項目は調
査対象から外れる場合があるため、類似調査項目を参考とする場合もあります。

北上市地域教育力向上推進計画策定の経過

年月日	件名等	協議事項	
令和2年7月22日	教育委員会定例会	基本計画等の策定方針について 基本計画等の策定スケジュール	
令和2年7月30日	社会教育委員会議		
令和2年8月4日	第1回庁内検討会		
令和2年8月20日	第1回地域教育力向上 推進委員会	令和元年度の総括 令和2年度事業計画 基本計画等の策定方針について 基本計画等の策定スケジュール	
令和2年9月25日	第2回庁内検討会	第1次計画の総括について	
令和2年10月9日	第2回地域教育力向上 推進委員会		
令和2年10月29日	第3回庁内検討会	推進計画（案）について	
令和2年10月30日	社会教育員会議		
令和2年11月20日	第3回地域教育力向上 推進委員会		
令和2年12月4日	第4回庁内検討会		
令和2年12月24日	第4回地域教育力向上 推進委員会		
令和3年2月8日	社会教育委員会議		
令和3年2月22日	第5回庁内検討会		
令和3年3月18日	第5回地域教育力向上 推進委員会		
令和3年3月24日	教育委員会定例会		議決

北上市地域教育力向上推進委員会設置要綱

(設置)

第1 北上市地域教育力向上基本計画及び北上市地域教育力向上行動計画（以下「地域教育力向上基本計画等」という。）に基づき地域教育力の向上を推進するため、北上市地域教育力向上推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 地域教育力向上基本計画等に係る事業の推進に関すること。
- (2) 地域教育力向上基本計画等に係る施策事業の点検に関すること。
- (3) 地域教育力向上基本計画等の見直しに関すること。
- (4) その他地域教育力向上の推進に関すること。

(組織)

第3 委員会は、委員20人以内をもって組織し、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 地域づくり組織関係者
- (2) 教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募による市民
- (5) 関係行政機関の職員
- (6) その他教育長が必要と認める者

(任期)

第4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5 委員会に、委員長を置き、委員の互選とする。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指定する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6 委員会は、教育長が招集する。

(庶務)

第7 委員会の庶務は、まちづくり部生涯学習文化課において行う。

北上市地域教育力向上推進委員会委員名簿

氏名	団体	摘要
高 橋 馨	前地域教育力向上検討委員会委員長	委員長
高 橋 峯 子	元北上市教育委員会教育委員長職務代理者	職務代理者
及 川 直 人	民生委員児童委員協議会主任児童委員（黒沢尻北地区）	
菊 池 明 敏	元北上市立北上中学校校長	
上 野 一 雄	稲瀬町教育力向上推進委員会委員長	
高 橋 秋 夫	飯豊地区振興協議会副会長、飯豊地区交流センター長	
平 野 直 志	更木町振興協議会	
高 橋 主 夫	鬼柳地区交流センター長	
後 藤 大 平	江釣子地区自治振興協議会常務理事	
藤 枝 剛	藤根地区交流センター事務長	
照 井 和 仁	和賀地区自治協議会生涯学習委員長	
高 橋 雄一郎	北上市立黒岩小学校校長	
高 橋 亨	北上市立北上北中学校校長	
泉 悟	岩手県立黒沢尻北高等学校校長	
高 橋 憲 一	北上市PTA連合会副会長	
齋 藤 康	飯豊地区振興協議会長	
小 岩 弘 之	公募委員	
昆 野 ひろ子	公募委員	
齋 藤 昌 彦	北上市教育部長	
小 原 学	北上市まちづくり部長	